

今年水田内のカメムシが多い！※8月中旬すくい取り調査結果  
直ちに防除、斑点米の発生を防ぎましょう！！

新・米づくりやまがた日本一運動置賜地域本部

8月17日～8月20日にかけて、置賜全域で水田内と畦畔・農道等におけるカメムシのすくい取り調査を行いました。

その結果、置賜全域の**水田内におけるカメムシの捕獲頭数・確認地点率は、過去最も高い結果**です。

「穂揃期7～10日後」防除（基本防除）の7～10日後の防除を行い、斑点米の発生を防ぎましょう！

【カメムシすくい取り調査結果の概要】

年次		確認地点率			平均すくい取り頭数（頭）		
		東南置賜	西置賜	置賜全体	東南置賜	西置賜	置賜全体
H22	水田	27.6	53.6	40.0	2.0	4.1	3.4
	水田以外	58.1	60.2	59.1	5.4	5.4	5.4
	全体	45.3	57.3	50.9	4.6	4.9	4.7
H21	水田	10.1	32.4	16.8	2.0	2.6	2.4
	水田以外	41.9	64.0	55.6	4.7	12.0	9.9
	全体	26.7	57.8	42.6	4.2	10.9	8.9
H20	水田	25.9	21.7	23.1	3.4	1.4	2.2
	水田以外	61.1	48.3	51.7	3.8	4.5	4.3
	全体	43.5	37.4	39.2	3.7	3.7	3.7
H18	水田	17.4	19.8	18.8	2.3	1.6	1.9
	水田以外	50.7	44.8	46.8	5.6	2.5	3.9
	全体	34.3	35.2	34.8	4.8	2.7	3.5

注1) すくい取り調査：左右に20回（10往復）すくい取り

注2) 水田以外：農道・畦畔・雑草地・牧草地等

防除の留意点



～ 農薬の登録内容をしっかり確認し、防除を行いましょう ～

◇ 防除の時期の目安

「はえぬき」（8月 4日出穂）：8月21日～8月27日頃

「コシヒカリ」（8月10日出穂）：8月20日～8月23日頃

◇ 留意事項その1

農薬の収穫前日数を『厳守』するとともに、使用回数を超えないように、薬剤を選択しましょう。

◇ 留意事項その2

「ミツバチ」への危害を防ぐために、

①近隣での「飼育の有無」を確認

②飼育者に「農薬散布の情報(場所や日時, 農薬の種類)」を提供

◎水管理：出穂後30日間は間断かん水で、登熟の向上を！  
(早期落水の防止)

栽培履歴の記帳はトレーサビリティの第一歩！今は「安心」なくて、おコメも売れません！！

農薬の使用に際しては、使用基準を再確認し正しく使いましょう…！

農薬情報は山形県が運営する農業情報サイト『やまがたアグリネット(愛称:あぐりん)』

<http://agrin.jp/>を参照ください。

